



作家
元国際線乗務員
黒木安馬

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、㈱日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に「成「幸」学」（講談社）、「あなたの人格以上は売れない!」（プレジデント社）、「出過ぎる杭は打ちにくい!」（サンマーク出版）、「面白くなくちゃ人生じゃない!」（ロングセラーズ）、「リセット人生・再起動マニュアル」（ワニブックス）、「小説・球磨川」（上下巻・ワニブックス）などがある。
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.3percent-club.com

21世紀だ！———人生・農業リセット再出発 145

あなたの苗字の由来は？

苗字帯刀。苗字を持ち、腰に刀を差すことが許された武士に対して、庶民は苗字も許されなかった。平安後期に律令と荘園制度が崩壊し、武士は自分の土地を開墾して自家所領を始める。同時に、所有権を主張するため、新しく開墾した田だから「新田」などと固有の名前を付けるとそれが苗字になった。民百姓は何村の田吾作などの表現でしかなかった。

幕末を迎え、海外の列強と伍して国をつくらなければならない明治新政府が誕生する。もとより欧米諸国からの侵略を防ぐにあたっての開国であり、富国強兵は急を要した。明治4年には全国に戸籍法が公布される。その際、苗字が無くては徴兵するにも誰が誰だか把握できない。それから4年、苗字を強制する法律「平民苗字必称義務令」により、国民はみな公的に苗字を持たなければならなくなった。つまり、130数年前の明治初期まで庶民には苗字は一切無かったのである。

兵隊に取られる、税金を取られる……国民はその真意を見破って反発した者も少なくなかった。自由奔放に平地部の人々とは違った古代からの伝統と血族を引き継いで生きてきた山岳民族は、捕縛され、官憲から逃げては殺され、平地へ引きずり降ろされて消滅の運命に遭う。反対色の強い村には、役人が大工を連れて一軒一軒回り、適当な苗字を思いつきで書いた表札を玄関に打ち付けたと記録が残っている。とはいえ、お上の命令にいつまでも背くわけにはいかず、人々はどのような名前を付けるか苦心した。山や田んぼの上方から家を数えて畑山、畑中、山田、田上、田中、中田、下田……、橋の近くだから橋本など勝手気ままな苗字が創られ、そのまま急いで登録される。戸籍整理の場面では徴兵や税金逃れで届け出が遅れ、6年経っても戸籍が不完全で「長

崎では徴兵が一人もできていない！」と大山巖陸軍大臣を嘆かせた一幕もあったという。これを裏返せば、我が家の先祖は藤原だ、源平だと自慢している家系はとんでもない最近の作り話に他ならない。誰しも自分を大きく偉く見せたいのは人間のサガ、祖先の血統がどのとこだわりたくもなる。そこに目を着けた詐欺師は各地を回り、いかにもあり得そうな武勇伝や平家落人伝説のやんごとなき御方のお種落とし伝承など苗字の由来をでっち上げ、荒唐無稽な家系図を書いて金にした。それが家のありがたい出自として伝え残されることになる。自分の父母の父母、すなわち4人のじいちゃんばあちゃん直近の名前すら言えないのに、気の遠くなるような昔の源平藤橘なんぞお笑い草でしかない。私の黒木姓をその道の専門家に聞いてみたら、熊本県・肥後国黒木村がルーツであり、中臣鎌足が天智天皇より賜ったことに始まる藤原氏隆家の流れ!とのことである。

自分がこの世に誕生するのは父と母の2人がいてのこと。その父と母にもそれぞれの両親、計4人がいる。そのまた先祖には8人、その先は16、32、64、128と倍数で増え続け、25代先にさかのぼれば1億6,000万人と日本の人口を上回る自分の先祖がおり、それが30代前になれば地球上の人口に匹敵する。その中の誰一人のDNAが欠けても現在の自分の存在はあり得なかった不変の真理に比べれば、苗字や氏素性なんぞどうでもいいこと。家系とやらを云々したところで、上を見ればきりが無い、下を見てもきりが無い、生きていだけでもうけもの！ 戒名は、名前を変えることで生前の悪行を隠し、えんま大王をだますためにある。人生つまらない見栄を捨て、現在の自分自身を精一杯おもしろく生きてみたいものである。